まめ知識 ●ナビレンス　カラフルな２次元コードおよびアプリで、壁や案内板などに設置された２次元コードをスマートフォンのカメラで読み取ると、方向、距離、目的地情報を音声で教えてくれる情報案内システム。



中島　輝男（市民クラブ）

障害者、高齢者への支援

質問　**ナビレンスの市有施設への導入により視覚障害のある方も便利になるが、本市の考えは。**

答弁　ナビレンスの市有施設への導入は市民サービスの向上およびバリアフリー化に寄与すると考える。視覚障害のある方のニーズの把握に努め、さまざまな支援ツールについて公共施設に適した方法やその効果を研究していきたい。

質問　**高齢者の移動に便利なシニアカーの有用性をどのように考えるか。また、シニアカーの購入に当たっての補助制度を導入する考えは。**

答弁　シニアカーは徒歩での移動が困難な高齢者にとって、自宅周辺などの移動において、大変有効な手段と認識している。また購入補助については、運転免許証の自主返納者等に対する移動支援の一環として制度を導入している他自治体の事例や効果、本市での実際のニーズの把握に努めながら、引き続き研究していきたい。



渡辺　幹治（新風会）

倉賀野駅のバリアフリー化

質問　**倉賀野駅バリアフリー化のための調査費用が、令和８年度の予算に盛り込まれているが、調査はどの程度進んでいるのか。**

答弁　令和７年度に駅舎や線路、付属施設の配置をはじめ自由通路の構造を確認し、課題を洗い出すための基礎的調査を実施した。令和８年度は、今後の設計等に必要なデータを収集するための現況測量を実施し、その結果を基にＪＲ東日本などと協議を進めていく。

質問　**倉賀野駅は構造上特殊な駅であり、また駅舎が建設され50年以上経過しているため、事業を本格化するには課題があるが、対応は。**

答弁　エレベーターは４基設置が必要であり、自由通路も改修または架け替えなど、細部にわたる検討が必要である。全てを同時に解消することは難しいが、関係機関と協議を重ね一つ一つの課題に対し丁寧に取り組んでいきたい。



石川　徹（新風会）

鳴沢湖と土地改良区の現状

質問　**土地改良区が地域農業に与える影響と役割の重要性をどのように認識しているのか。**

答弁　土地改良区には、広大な農地へ水を供給するための水路やため池、農業用施設の適切な維持管理や運営に長年にわたり尽力してもらっており、農家が安心して営農するために不可欠なものであると認識している。

質問　**令和９年度に群馬県主体で鳴沢湖の堰堤調査を実施する予定だが、本市の対応は。**

答弁　鳴沢湖の水を抜いてから、堰堤の構造や強度の調査を行う予定であるため、施設所有者である本市としても、調査が円滑かつ確実に実施できるように県や土地改良区と緊密に連携していく。また、調査結果に基づき改修等の必要が生じた際には、必要な予算確保を含め、防災・減災対策の重点的な推進に向けて、県とともに一体となって適切に対応していく。



金子　和幸（日本共産党）

必要とするすべての児童・生徒が利用可能な教育支援センター

質問　**小学生の教育支援センターへの送迎は原則保護者とされているが、仕事等のさまざまな事情で保護者の送迎ができない場合の対応は。**

答弁　これまでにも公共交通機関の利用を検討したが、児童の安全を第一に考え、保護者の送迎をお願いしている。都合がつかない場合は保護者の申請により、祖父母等の親族や保護者が認めた知人などの送迎についても認めている。

質問　**教育支援センターの開所時間を早めたり、施設数を増やし、通いやすくすることで送迎の可能性が広がると考えるが、本市の考えは。**

答弁　さまざまな要望があるが、全てを満たすことは非常に難しい状況である。現在は開所時間を通室しやすい時間帯の午前９時から午後３時としている。また、設置数は８カ所と県内で最多、人口同規模の前橋市と比べて２倍の設置箇所数のため、現時点で増設は考えていない。

まめ知識 ●グランドデザイン　全体的・長期的な構想や将来あるべき姿の基本設計図。



高橋　美奈雄（市民クラブ）

令和８年熊本地震を教訓とした上下水道耐震化
本市におけるＡＩ活用の現状と課題

質問　**令和８年熊本地震を踏まえ、今回の被害を教訓として既存の防災計画や上下水道の事業計画に反映させる考えはあるのか。**

答弁　今回の地震で、管路の耐震化の遅れが発災直後のみならず中長期的な市民生活のまひに直結することが課題となった。こうした課題を踏まえ、さらなる上下水道耐震化計画の推進、応急復旧等を既存計画に反映していきたい。

質問　**本市では現在、生成ＡＩをどのような業務で活用しているのか。また、市民サービスの向上につなげる等の成果は得られているのか。**

答弁　文書作成のほかプレゼンテーション用のスライド作成や会議の音声データから議事録を作成するなど、活用範囲は大きく広がっている。市民課では、手続きの際に書かない窓口を導入する予定であり、負担軽減や待ち時間の短縮という効果を市民に実感してもらえると考える。



荒木　征二（たかさき未来）

本市の映画文化
ＩＣＴ化推進

質問　**シネマテークたかさきの独自性を尊重しつつも、一歩進んだシネマテークたかさきとの連携や支援の在り方について、市の考えは。**

答弁　本市にとって重要な映画文化の発信拠点であり、施設等の維持、継続に課題がある中で、耐用年数を経過し不具合が生じている映写機の購入補助のために補正予算を上程している。今後も自主性や独自性を尊重することを前提とし、安定して事業を継続できるよう意見交換を重ねながら映画文化の維持、発展に取り組みたい。

質問　**公立保育所ＩＣＴ化に対する市の考えは。**

答弁　事務効率化等の効果が一定程度あると認識しているが、ランニングコストの課題や保育の質を損なうことがないか慎重に見極める必要がある。先行して導入している他市の事例や運用上の課題等を参考にしながら、保育現場に最も適したＩＣＴの在り方について研究していく。



伊藤　敦博（日本共産党）

倉渕ダムが本市に及ぼす影響
車がなくても暮らせるまちづくり

質問　**倉渕ダム建設予定地である倉渕の烏川源流地域が果たす水源涵養林としての役割は。**

答弁　水源涵養林は雨水を地中に蓄え、ゆっくりと川へ流すことで、洪水の防止や川の水が枯れるのを防ぐ機能を持ち、自然環境の保全、水源の安定確保や自然災害の防止など市民の安全で豊かな生活基盤を支える役割を担っている。

質問　**おとしよりぐるりんタクシーはルートの新設や運行エリアの拡大により利用者が増加しているが、今後の展開や計画についての考えは。**

答弁　令和９年３月に予定しているＪＲ信越線の新駅、豊岡だるま駅の開業を控え、新たに豊岡地区において導入予定である。今後もこれまでと同様に、地域の高齢化率や既存の公共交通の状況、地形的な要因などの地域特性を考慮するとともに、市全体の財政状況なども踏まえ、優先順位を見極めながら検討していく。



堀口　順（市民クラブ）

高崎観音を中心とした観光施策及び観音山丘陵周辺の整備
教育問題諸課題

質問　**本市のにぎわいを取り戻すためには、グランドデザインを策定し、白衣大観音を中心とした観光施策を展開していくことが必要不可欠な要件であると考えるが、今後の取り組みは。**

答弁　高崎の象徴である白衣大観音をはじめ、ケルナー広場など観音山全体を本市の魅力的な観光エリアとして位置付け、より多くのにぎわいが生まれる仕掛けづくりに取り組んでいく。

質問　**新学習指導要領を見据えたＡＩを含む情報教育の進め方は。また、学校におけるカスタマーハラスメントに対する取り組みと対応は。**

答弁　次期学習指導要領に基づき、生成ＡＩを学習面で活用する場合の安全で効果的な方法の研究を進める。また、過度な苦情や不当要求には、建設的な話し合いになるよう努めており、保護者や地域の方との良好な関係の構築、児童・生徒を守るための体制整備を検討していく。